

赤間新市長就任

7点

施政方針

当面の課題は

赤間新市長が4月23日に就任し、最初の定例会となる6月定例会の初日、市長より施政方針が述べられました。

施政方針の概要

政治姿勢

第1に、「魅力あるまちづくり」を目指し、「公平公正な政治」を行うことを基本とし、公約を実行していきます。

第2に、行財政改革は、今後ますます厳しさを増すであろう市財政を勘案すると、市民の方への負担増を回避するべく、より一層の改革を推進する必要があります。と感じております。

第3に、市民の皆さまのニーズに即した公開できる情報は、行政自らが広報、ホームページなどを利用し積極的に、また適時適切に公開していきます、市民

の皆さまに信頼していただけるよう「開かれた市政」運営に努めます。

当面する課題

○庁舎問題

今後の維持管理費や現各庁舎の老朽化具合から考えて、庁舎1本化に向けて、出張所の設置など地域への激変緩和措置を検討し、財政状況も勘案しながら、市民の皆さま、議会のご理解を得ながら推進します。



碓井庁舎

○情報通信基盤整備

どのようなサービスを提供するのかを決めた上で、望ましい情報

通信基盤を検討する必要があるため、整備計画の検証作業を行い、必要であれば内容を見直します。

○市内交通体系の見直し

市バスと福祉バスを統合し、全市に市バスを走行させる整備計画を事業者の方との協議、議会への計画案の報告や市民の皆さまへの周知など、ご理解を得ながら推進します。

○火葬場建設

平成30年度に供用開始予定とされておりましたが、より早い時期での市民サービスができるよう、1年間前倒しし、平成29年度に供用開始をするスケジュールとします。



嘉麻斎場

○行財政改革

平成28～33年度までの第三次実施計画は、これまでに先送りされてきた、難しいものばかりが残った状況での計画策定となるので、内容については、非常に厳しいものになることが予想されます。

早期に第三次実施計画策定に着手し、市民の皆さまへの負担増の回避のため、創意工夫をこらし、市民の皆さま、議会のご理解も得ながら推進します。

○社会保障・税番号制度への対応

本年度から本格的に経費をかけてシステ

ムなどを構築していく必要があり、制度開始に支障のないよう、また市民の皆さま、議会への関係情報の周知を遺漏なく行いながら推進します。

○国道322号及び八丁トンネル関係

八丁トンネルの完成により活性化に寄与するものと期待しているところであり、当面は事業進捗の状況を注視したいと考えています。

本年度の重点施策

- プロジェクトKの更なる推進
 - 教育の充実
 - 子育て支援の充実
 - 福祉施策の充実
- 以上の4点が掲げられています。

※市長の施政方針を受け議員からは、具体的な施策について質問がなされました。

(一般質問記事参照)